

「自動走行車公道実証ワーキング・グループ（WG）」の設置について

1. 背景

- 官民 ITS 構想・ロードマップ 2016（平成 28 年 5 月 20 日、高度情報通信ネットワーク社会推進戦略本部）では、「限定地域での無人自動走行による移動サービスの実証、本格サービスについては、2020 年東京オリンピック・パラリンピック競技大会を見据えた…（中略）…取組を進める」とし、本年より「2017 年目途の公道実証に向けた取組」を進めることとされている。
- 国土交通省自動車局では、本ロードマップを受けて、車両内の運転者による操作を必要としない自動走行システムの実証走行に係る車両側の要件等について検討を開始するため、車両安全対策検討会の下に、「自動走行車公道実証ワーキング・グループ（WG）」を設置することとする。

2. WGメンバー案

別紙のとおり。

3. 検討項目

車両内の運転者による操作を必要としない自動走行システムの実証走行を行おうとする実施主体（以下「実証実施者」という。）が提案する実証計画、車両性能等に応じた、安全かつ円滑な実証走行を行うための条件、安全確保措置等

※ これら実証実験にかかる諸条件等は、各実証実施者が提案する実証計画、車両性能等に応じ、技術的データ等に基づき、個別に審議されるものであり、自動走行車公道実証に係る一般的なルールを検討するものではない。

4. 検討スケジュール

- ・ 平成 28 年度中に第 1 回WGを開催（事業者からの提案を踏まえて）
- ・ その後、提案事業者等が提案する実証計画、車両性能を踏まえつつ、第 2 回以降を開催（この間、要すれば公道外での実証も実施）。結論が得られたものから順次、実証走行を開始するものとする。
- ・ 第 3 回車両安全対策検討会において進捗を報告

5. その他

WGでは、実証実施者の車両性能や事業計画にかかわる審議を行うことから、会議資料及び審議内容は原則非公開とする。

自動走行車公道実証WG検討体制（案）

<メンバー> ◎座長

- ◎鎌田 実 （東京大学大学院新領域創成科学研究科 教授）
- 稲垣 敏之 （筑波大学理事・副学長）
- 小野 古志郎 （日本交通科学学会 理事・副会長）
- 河合 英直 （自動車技術総合機構交通安全環境研究所 自動車研究部長）
- 清水 和夫 （モータージャーナリスト）
- 竹村 宏 （公益社団法人自動車技術会 総務担当理事）
- 森山 みずほ （モータージャーナリスト）

<オブザーバー>

- 警察庁交通局交通企画課
- 経済産業省製造産業局自動車課・商務情報政策局情報経済課
- 国土交通省道路局道路交通管理課 ITS 推進室
- 一般社団法人日本自動車工業会

<事務局>

- 国土交通省自動車局技術政策課

※ このほか、実証実施者を招聘し、ヒヤリング・議論等を行う。